

様式第 1 号(第 2 条関係)

工 事 起 工 (変 更) 概 要 書

市	副	部	課	補	主	係	係
長	市長	長	長	佐	査	長	員

施 工 年 度 平成31年度 工 事 名 31南浜地区雨水排水路清掃その1業務委託 設 計 書					
施 工 場 所 等 神 栖 市 南 浜 地 内					
設 計 概 要 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 施工延長 L= 440.0 m </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 水路清掃工 N= 1 式 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 仮設工 N= 1 式 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 運搬処理工 N= 1 式 </div>			変 更 理 由 <div style="border: 1px solid black; height: 180px;"></div>		
費 目	起 工	円	第 回変更	第 回変更	増 減
起 工 額		円			
請負に付する額又は請負額					
工 事 価 格		円			
測量試験費 又は 工事雑費					
消 費 税 相 当 額		円			
請 負 決 定 額					
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 変 更 工 事 価 格 算 定 基 準 変更工事価格 = 変更積算工事価格 x 請負比率 </div> <div style="text-align: right;"> $\left\{ \frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の請負に付する額}} \right\}$ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 10px;"> 変 更 積 算 工 事 価 格 </div> <div style="margin: 0 10px;">x</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 10px;"> 請 負 比 率 </div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 10px;"> 変 更 工 事 価 格 </div> </div>					

本 工 事 内 訳 書

No. 1

[illegible]

本 工 事 内 訳 書

No. 2

[illegible]

本 工 事 内 訳 書

No. 3

工種	規格・細目	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬処理工						
	刈草処分	t	2			
	根幹運搬	m ³	123			代価第 11 号参照
	根幹処分	t	37			
	枝葉処分	//	2			
	汚泥運搬	m ³	296			代価第 12 号参照
	汚泥処分	t	473			
	散在塵芥収集・運搬	m ²	2,500			代価第 13 号参照
	混合廃棄物処理	m ³	1			

諸 経 費 算 出 表

No. 4

工種	規格・細目	単位	数量	単価	金額	摘要
直接工事費計						
処分費等		式	1			
	仮設運搬費	//	1			代価第 14 号参照
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費		式	1			
工事原価						
一般管理費等		式	1			
契約保証費用		式	1			
工事費計						
工事価格						
消費税相当額		式	1			
請負工事費						

31南浜地区雨水排水路清掃その1業務委託
数量計算書

31南浜地区雨水排水路清掃その1業務委託

1. 水路清掃工

1) 除草工 肩掛式機械
 除草、集草、積込、運搬

$$A = \begin{array}{ccccccc} & \text{水路延長} & & \text{平均水路幅員} & & \text{平場延長-1} & & \text{平均平場幅員} & & \text{平場延長-2} & & \text{平均平場幅員} \\ & 340.0 & \times & 5.6 & + & 440.0 & \times & 1.2 & + & 440.0 & \times & 1.2 \end{array} = 2,960.0 \div 3,000 \text{ m}^2$$

2) 汚泥集積

$$V = \begin{array}{ccccccc} & \text{水路延長} & & \text{平均水路幅員} & & \text{平均高} \\ & 440.0 & \times & 5.6 & \times & 0.17 \end{array} = 418.9 \div 420 \text{ m}^3$$

3) 汚泥積込 積込+根幹分別

$$V = \text{汚泥集積と同積} = 418.9 \div 420 \text{ m}^3$$

4) フォルターサー搬入搬出作業

$$N = \begin{array}{ccc} & \text{搬入} & \text{搬出} \\ & 1.0 & + & 1.0 \end{array} = 2.0 \div 2 \text{ 回}$$

5) 植樹せん定(中木)

$$A = \begin{array}{ccc} & \text{延長} & \text{側面} \\ & 60.0 & \times & 2.00 \end{array} = 120.0 \div 120 \text{ m}^2$$

2. 仮設工

1) 受桁

※受桁・敷鉄板による汚泥積込ステージは、100mに一箇所設置するものとする。

N=

=

÷

1 式

2) 敷鉄板

※受桁・敷鉄板による汚泥積込ステージは、100mに一箇所設置するものとする。

N=

=

÷

1 式

3) 仮設運搬費

N=

=

÷

1 式

4) 土のう積工

小口並べ 仕拵・積立・撤去

	土のう幅		土のう積工-1		箇所
A=	0.5	x	5.6	x	1.0

= 2.8

÷

3 m²

5) 締切排水

N=

=

÷

1 式

6) 交通管理費

2方向

N=

=

÷

1 式

3. 運搬処理工

1) 刈草処分

$$V = \frac{\text{除草面積} \times \text{比重 (kg/m}^2\text{)}}{\text{(kg/t)}} = \frac{2,960.0 \times 0.5}{1,000} = 1.5 \div 2 \text{ t}$$

2) 根幹運搬

$$V = \text{水路延長} \times \text{平均水路幅員} \times \text{平均高} = 440.0 \times 5.6 \times 0.05 = 123.2 \div 123 \text{ m}^3$$

3) 根幹処分

$$V = \frac{\text{運搬体積} \times \text{比重 (kg/m}^3\text{)}}{\text{(kg/t)}} = \frac{123.2 \times 300.0}{1,000} = 37.0 \div 37 \text{ t}$$

4) 枝葉処分

$$V = \frac{\text{枝葉面積} \times \text{比重 (kg/m}^2\text{)}}{\text{(kg/t)}} = \frac{120.0 \times 18.0}{1,000} = 2.2 \div 2 \text{ t}$$

5) 汚泥運搬

$$V = \frac{\text{汚泥積込} \times \text{根幹}}{\text{(kg/t)}} = \frac{418.9 \times 123.2}{1,000} = 295.7 \div 296 \text{ m}^3$$

6) 汚泥処分

$$V = \frac{\text{運搬体積} \times \text{比重 (t/m}^3\text{)}}{\text{(kg/t)}} = \frac{295.7 \times 1.6}{1,000} = 473.1 \div 473 \text{ t}$$

7) 散在塵芥収集・運搬

$$V = \begin{array}{c} \text{水路延長} \\ 440.0 \end{array} \times \begin{array}{c} \text{平均水路幅員} \\ 5.6 \end{array} = 2,464.0 \div 2,500 \text{ m}^2$$

8) 混合廃棄物処理

$$V = 1.0 = 1.0 \div 1 \text{ m}^3$$

代 価 表

第 1 号

機械除草(肩掛式)・集草・積込運搬 無し ダンプトラック(オンロード・ディーゼル・2t積級) 6.5km以下 良好

1.0 m2 当り 一 位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比 (%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		1	55							
K1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量2t積級	1	11							
K2	草刈機 肩掛式・カッター径255mm	0	43							
R		98	03							
R1	普通作業員	45	69							
R2	特殊作業員	37	69							
R3	土木一般世話役	8	63							
R4	一般運転手	3	27							
Z		0	42							
Z1	軽油 1.2号(陸上用)	0	42							

積算単価

第 2 号						
<div> <div>汚泥集積</div> <div>10.0 m3 当り 一 位 代 価 表</div> </div>						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
汚泥機械集積	フルト'ーサ' 3t	m3	10.000			代価第 15 号参照
集積補助	普通作業員	人				
計						
一単位当り						
						<div>神栖市</div> <div>第 2 号</div>

第 3 号						
汚泥積込 積込+根幹分別 10.0 m3 当り 一 位 代 価 表						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
汚泥機械積込	バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)積込+根幹分別	m3	10.000			代価第 16 号参照
積込・分別補助	普通作業員	人				
計						
一単位当り						
						神栖市 第 3 号

第 5 号						
植樹管理中木 せん定 集積・積込・運搬1.0 m2 当り 一位 代 価 表						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
樹木せん定	中木	m2	1.000			
計						
一単位当り						
						神栖市 第 5 号

[illegible]

第 8 号						
土のう積工 小口並べ 仕持・積立・撤去 10.0 m2 当り 一位 代 価 表						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
購入土	盛土用(現場着)	m3	3.400			
土のう	62x48cm	枚	170.000			
諸 雑 費		式	1.000			
計						
一単位当り						
						神栖市 第 8 号

第 10 号						
<div> <div>交通管理費</div> <div>2方向</div> <div>1.0 式 当 り 一 位 代 価 表</div> </div>						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人	20.000			
計						
一単位当り						
						<div>神栖市</div> <div>第 10 号</div>

根幹運搬

DID無し 9.5km以下

1.0 m3 当り 一 位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比 (%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		48	98							
K1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	48	98							
R		37	01							
R1	一般運転手	37	01							
Z		14	01							
Z1	軽油 1.2号(陸上用)	14	01							

積算単価

汚泥運搬 密閉型ダンプトラック DID無し 9.5km以下

1.0 m3 当り 一 位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比 (%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		48	98							
K1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	48	98							
R		37	01							
R1	一般運転手	37	01							
Z		14	01							
Z1	軽油 1.2号(陸上用)	14	01							

積算単価

第 13 号

散在塵芥収集 収集・集積・運搬 DID無し 4.5km以下 持込 良好 1.0 m2 当り 一 位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比 (%)	地区単価	地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価	東京単価備考
K		3 16					
K1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量2t積級	3 16					
R		95 64					
R1	軽作業員	71 11					
R2	土木一般世話役	14 68					
R3	一般運転手	9 85					
Z		1 20					
Z1	軽油 1.2号(陸上用)	1 20					

積算単価

仮設材運搬費

運搬距離 L=10.0km以内

1.0 式 当 り 一 位 代 価 表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運搬費	敷鉄板・H形鋼	t	17.655			
積込み・取卸し		t	17.655			
22x1524x6096	敷鉄板 1.604t/枚x10枚=16.04t					
H250	H形鋼 0.0718t/m x 1.5m x 15本=1.615t					
計						
一単位当り						

汚泥機械集積

フルドーザ 3t

1.0 m3 当り 一 位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比 (%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		21	16							
K1	フルドーザ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通 3t級(3~4t)	21	16							
R		72	81							
R1	特殊運転手	53	04							
R2	普通作業員	19	77							
Z		6	03							
Z1	軽油 1.2号(陸上用)	6	03							

積算単価

汚泥機械積込

バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)積込+根幹分別

1.0 m3 当り 一 位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比 (%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		45	86							
K1	バックホウ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	45	86							
R		37	68							
R1	特殊運転手	37	68							
Z		16	46							
Z1	軽油 1.2号(陸上用)	16	46							

積算単価

受桁設置・撤去

1.0 回 当 り 一 位 代 価 表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
覆工板受桁設置	0.0718x1.5x15=1.615	t	1.615			代価第 22 号参照
覆工板受桁撤去	0.0718x1.5x15=1.615	t	1.615			代価第 23 号参照
計						
一単位当り						

敷鉄板設置・撤去

A=1.524x6.096x10x5

100.0 m2 当り 一位代価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
とび工		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ](ホイールクレーン)	25t吊 オペレータ付 日極(第2次)	日				
計						
一単位当り						

第 20 号						
<div> <div>ポンプ運転(作業時排水) 発動発電機</div> <div>排水量0m3/h以上40m3/h未満</div> <div>1.0 日 当 り 一 位 代 価 表</div> </div>						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
工事用水中モータポンプ(賃料)	口径150mm揚程10m7.5kW	日				代価第 24 号参照
発動発電機(賃料)	出力25kVA低騒音型	日				代価第 25 号参照
諸雑費	ポンプ配管材料の損料、分電盤の賃料等	式	1.000			
計						
一単位当り						
						<div>神栖市</div> <div>第 20 号</div>

第 21 号						
水替ポンプ据付・撤去						
1.0 箇所 当り 一 位 代 価 表						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(賃料)	山積0.8m3吊2.9t	日				代価第 26 号参照
計						
一単位当り						
						神栖市 第 21 号

第 22 号						
覆工板受桁設置 0.0718x1.5x15=1.615 10.0 t 当り 一 位 代 価 表						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
溶接工		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮シブ](ホイールクレーン)	25t吊 オペレータ付 日極(第2次)	供用日				
諸雑費	設置 溶接機、溶接棒、アセチレンガス等	式	1.000			
計						
一単位当り						
					神栖市	第 22 号

第 23 号						
覆工板受桁撤去 0.0718x1.5x15=1.615 10.0 t 当り 一 位 代 価 表						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
溶接工		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ｼﾌﾞ](ホイールクレーン)	25t吊 オペレータ付 日極(第2次)	供用日				
諸雑費	撤去 溶接機、溶接棒、アセチレンガス等	式	1.000			
計						
一単位当り						
						神栖市 第 23 号

工事用水中モータポンプ(賃料) 口径150mm揚程10m7.5kW

1.0 日 当 り 一 位 代 価 表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事用水中ポンプ(潜水ポンプ)	口径150mm 揚程10m 7.5kW	供用日				
計						
一単位当り						

第 25 号						
発動発電機(賃料) 出力25kVA低騒音型 1.0 日 当 り 一 位 代 価 表						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
軽油	1.2号(陸上用)	L				
発動発電機[ディーゼル駆動]	出力25kVA 低騒音型	供用日				
計						
一単位当り						
						<div>神栖市</div> <div>第 25 号</div>

第 26 号						
バックホウ(賃料) 山積0.8m3吊2.9t 1.0 日 当 り 一 位 代 価 表						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊運転手		人				
軽油	1.2号(陸上用)	L				
バックホウ[クローラ型クレーン付]	山積0.8m3 吊2.9t	供用日				
諸 雑 費		式	1.000			
計						
一単位当り						
						神栖市 第 26 号

仕 様 書

雨水排水路清掃業務委託仕様書

1. 目的

この仕様書は、雨水排水路清掃業務受託者の業務について、その業務要領を定める事を目的とする。

2. 委託業務の履行

要求された排水路機能を十分に達成できるよう、仕様書及び契約書に基づき、委託業務を円滑に履行する事。

3. 委託業務の場所

別紙図面のとおり

4. 委託業務の内容

(1) 排水路内除草・収集・運搬・処分

(2) 排水路内清掃

(3) 排水路内汚泥と根幹を分別し、各々積込・運搬・処分

5. 業務の完了及び検査

業務が完了した際は速やかに竣工書類を作成し、業務完了報告書と共に監督員へ提出する事。また、検査員の求める完了検査に応じる事。

6. 汚泥処理の取り扱いについて

本業務にて発生する建設汚泥については、道路その他を汚損する事の無いよう密封型運搬車両を使用し、各県知事の認める指定処理施設に搬入を行い、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「神栖市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」に基づき適正に処理を行う事。また、以下の書類を竣工書類に添付する事。

(1) 産業廃棄物搬出量調査

(2) 産業廃棄物管理票（マニフェスト票）の写し

7. 汚泥処理の外部委託について

建設汚泥の運搬・処分に関する業務を外部業者等に委託する場合は、産業廃棄物処理委託契約を結ぶ事。また、委託契約後速やかに以下の書類を監督員に提出する事。

(1) 産業廃棄物運搬収集・処分業許可証の写し

(2) 産業廃棄物処理委託契約書の写し

8. 委託業務中の安全管理

委託業務中は作業従事者並びに第三者への適切な安全策を施し、災害発生の防止に努める事。また業務を行うにあたり、一般交通に支障を及ぼす場合は、監督員と協議の上、警察署等へ道路使用許可を申請し、適切な交通規制において業務を実施する事。申請に要する書類は委託業者において作成を行う事。

特 記 仕 様 書

排出ガス対策型建設機械使用の原則化

1. 当工事における使用機械のうち排出ガス対策型と表示したものは原則として、それ以外の機械の使用は認められないので留意すること。
2. 排出ガス対策型建設機械の調達が困難である場合は、理由書を提出し、その理由が妥当であるか監督員と協議し決定する。(請負者の都合による場合は不可) この場合変更契約の対象工事とする。
3. 現場代理人は、排出ガス対策型建設機械を使用する場合、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。
4. 請負者は、施工計画書に排出ガス対策型建設機械の機械名、規格等を記載し、監督員の確認を受けること。
5. 施工中の確認及び工事写真
 - イ) 指定ラベルが添付されていること。
 - ロ) 形式名が指定一覧表に記載されていること。
6. その他、疑問点がある場合は監督員と協議し決定するものとする。

特 記 仕 様 書

a. 分別解体等・再資源化等〔建設リサイクル法の対象建設工事〕

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されているものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

① 分別解体等の方法

工 程		作 業 内 容	分別解体等の方法(※)
工 程 こと の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	① 仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 機械作業の併用
	② 土工	土工事 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③ 基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④ 本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤ 本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥ その他	その他の工事 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

② 再資源化等をする施設の名称及び所在地

③ その他

仮置き等必要条件があれば記載する。

2. 請負者は、分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、別添様式11により監督員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

b. その他

工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

(様式-1) リ サ イ ク ル 計 画 書 (詳 細 ・ 積 算 段 階)

1. 設計概要

発注機関名	神戸市役所 道路整備課
工事名	31南浜地区雨水排水路清掃その1業務委託
施工場所	神戸市 南浜 地内
工事概要等	水路清掃工 N=1式 仮設工 N=1式 運搬処理工 N=1式
工期(予定)	

2. 建設資材利用計画

建設資材	①利用量	②現場内利用	③再生材利用量	④新材利用量	⑤再生資源利用率 (②+③)/①x100	備 考
土砂	m ³	m ³	m ³	m ³	%	
砕石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	
他産業からの再生材						

3. 建設副産物搬出計画

指定副産物の種類	⑥ 発生量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩最終処分量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥x100)	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨)/⑥x100	
建設発生土								
第1種 建設発生土								
第2種 建設発生土								
第3種 建設発生土								
第4種 建設発生土								
泥土(浚渫土)								
合計								
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン		%	%	
アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン		%	%	
スラック材	トン	トン	トン	トン		%	%	
建設汚泥	295.7m ³	m ³	m ³	295.7m ³		%	100%	

*建設発生土の区分(既存資料から判断するものとする。)

①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

*建設発生土の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。

*利用量等は、現時点で算出可能なものを記載する。

④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。(第3種建設発生土を除く)

⑤泥土(浚渫土)・・・浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。

<参考> 重量換算係数 (トン/%)

項 目	荷積み状態での換算値		実体積による換算値
	建廃がイトライン値(注1)	参考値(トン/%)	参考値(トン/%)
建設汚泥	1.2~1.6	1.4	1.4
コンクリート塊	(建設廃材)	1.8*注2	2.35(無筋)
アスファルト塊	1.6~1.8	1.8*注2	2.35
建設発生木材	0.4~0.7	0.5	
金属くず	1.4~2.0	1.5	

注1: 建廃がイトライン値: (「建設廃棄物処理がイトライン」厚生省生活衛生局水道環境部産業廃棄物対策室監修) による値

注2: これは運搬時における空隙を多く含む状態での標準的な換算値である。

項 目	荷積み状態での換算値	
	建廃がイトライン値(注1)	参考値(トン/%)
廃プラスチック	0.1~0.3	0.2
建設混合	新築	0.31注3
廃棄物	木造解体	0.816
アスベスト	—	0.25
砕石	—	—
		2.0*注4

注3: 建設混合廃棄物の新築は(社)建築業協会の調査結果(H2.9.30)、木造解体は「関東木造建設解体業連絡協議会」の調査結果(H3.3.4)による。

注4: 盛土状態での換算値。(「道路橋示方書・同解説」(社)日本道路協会)等による値。